

宮城県感染症発生動向調査情報

平成29年10月5日発行

— 2017.9.25～2017.10.1—第39週—

1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾病	保健所							仙台市 患者数	宮城県(含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼		患者数	累計	第36週	第37週	第38週	第39週
水痘					2	1		8	11	813				
流行性耳下腺炎	1	11	1		2			2	17	523		○	レ	
百日咳										0				
感染性胃腸炎	20	28	8	6	5	4		134	205	11,143	◎	◎	◎	◎
手足口病	24	38	9	7	8	36	24	144	290	6,217	◎	◎	◎	◎
伝染性紅斑							1	3	4	170				
突発性発しん	1	3	3	1	2	2		10	22	1,268	○	○	レ	
ヘルパンギーナ		8	5		3			14	30	925	◎	◎	○	○
インフルエンザ	7	4		9				22	42	27,308	○	◎	○	○
咽頭結膜熱	4	2	4			1		7	18	1,398				
流行性角結膜炎								3	3	115				
急性出血性結膜炎										0				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	19	35	2	5	2	31		18	112	5,805	◎	◎	◎	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)										1				
無菌性髄膜炎										0				
マイコプラズマ肺炎	4			1		4	2	4	13	211				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)										0				
RSウイルス感染症	26	10	5	6	2			50	99	2,001	◎	◎	◎	◎
感染性胃腸炎(ロタウイルス)									0	50				
拡大疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	19	5	6	7	1		2	19					
	川崎病	1												
	不明発しん症								6					

※今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 0例

2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核

塩釜管内 女性1名
大崎管内 女性1名
仙台管内 男性1名、女性4名、女児1名※

3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O157)

塩釜管内 男性1名

4類感染症: A型肝炎

仙南管内 男性1名

5類感染症: 劇症型溶血性レンサ球菌感染症

仙台管内 女性1名(第38週)
侵襲性肺炎球菌感染症
仙台管内 女性1名

※女児は6歳未満

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

[手足口病]

仙南、塩釜、栗原、登米、石巻、気仙沼、仙台管内で警報継続中

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

報告なし

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確 定			中 間 報 告		
	第36週採取分 (9.4～9.10)	第37週採取分 (9.11～9.17)	第38週採取分 (9.18～9.24)	第36週採取分 (9.4～9.10)	第37週採取分 (9.11～9.17)	第38週採取分 (9.18～9.24)
インフルエンザウイルス(H1)pdm09	1件	1件	0件	1件	1件	0件
RSウイルス	5件	5件	3件	5件	5件	3件
ライノウイルス	3件	1件	2件	3件	1件	2件
サイトメガロウイルス	0件	1件	1件	0件	1件	1件
パラインフルエンザウイルス(1型)	7件	2件	0件	7件	2件	0件
パラインフルエンザウイルス(4型)	1件	2件	0件	1件	2件	0件

* RSウイルス、パラインフルエンザウイルスの分離が多い状態が続いています。

* 件数は少ないものの第33週ごろから継続してインフルエンザウイルスが分離されています。

4. 今週のコメント

【秋冬の感染症対策】

秋から冬にかけては、インフルエンザ、感染性胃腸炎、RSウイルスなどの集団感染を引き起こす感染症が流行しますが、特に今年はRSウイルス感染症が例年より早く流行しています。冬季は低温で空気が乾燥するために、せきやくしゃみの飛沫が小さくなり、飛沫に含まれたウイルスが飛散し感染が拡大します。また例年、ノロウイルス等が原因の感染性胃腸炎患者も増加するシーズンとなりますので、今後の動向に注意が必要です。うがいや手洗いなど日常生活での予防対策に努めましょう。

宮城県定点週報告対象疾病の推移

